

弔辭

○○○さん、あなたは先般血圧が高くなつたので用心のため、労災病院に入院なされたとのこと承りましたがそのうち御退院されることと思つて居りました。

その後、奥様の御病気のことでお目にかかりましたが、大変御元氣でいらしたので安心しておりますところ、御容態が急変なされたとのことで急ぎ日赤病院へ駆け参じましたが、すでに意識がはつきりなさらずお話しも出来ませぬまま、本日ははや、お骨となられ人間とは全くもろいものだとつくづく感じました。

私はあなたの母上様の胆石症の手術を致しましたことが御縁となりその後今日まで三十年近く大変親しくさせて頂きました。あなたのかけひきのない天真爛漫な御人格はかけがえのない美德であり、私の手本とするところでございました。

以前、川端康成氏がノーベル賞をいただき、ストックホルムでの受賞記念講演会で日本の美について話されたおり、日本の美は「虚空」という言葉であると申されましたことに、私はとても深い感銘を受けました。日本の文化で世界に誇り得るものは、この「無」の哲学即ち「意図しない」哲学であろうと思います。あなたのこの「無」の美德の素質は御両親より頂かれ、それを仏様へのあなたの深い帰依によつて完成なされたものと私は考えています。この宇宙は厳として輪廻の原則によつて動いています。あなたは今この世のつとめを「無」の哲学を守つて立派に終えられました。その善根の報いで次のよき世界へスタートをきづかれていること私は信じて居ります。次の新しい人生におかれましても、あなたの哲学を守つて御活躍なされます様お祈り申し上げて私の御礼の言葉に代えさせて頂きます。

長い間、お世話になりまことに有難うございました。

平成○年○月○日

○○ ○○

